

「一般財団法人・マザープロジェクト」は、2008年に設立され、東日本地区のお母さん方を中心に、「親と子の絆」をテーマに、さまざまなボランティア活動をしてまいりました。昨年の東日本大震災、そして、原発事故において、私共も「復旧・復興」に向け活動しております。

特にその中で、福島県の放射能問題にも目を向け、子ども達が元気に未来に向けて生きていくため、何が出来るかを考え、この度「母と子のふくしま未来対策研究所」を設立すべく準備をはじめました。その準備の一環として、下記の「集い」を開催致します。

母の視点での情報プラットホームと学習の場を、多くの市民の方々の協力のもとに創り上げたいと思っていますので、何卒宜しくお願い致します。

#### <「母と子のふくしま未来対策の集い」開催要項>

- ① 日時：平成24年4月7日（土）10：30～17：00
- ② 場所：郡山市ユラックス熱海2F      ③参加人数：300名予定      ④入場料：500円
- ⑤ タイムテーブル    ～10：00 受付開始（開場）～
  - 10：30 主催者あいさつ
  - 10：50 ベラルーシ大使（セルゲイ ラフマニノフ閣下）ーチェルノブイリの経験から
  - 11：20 澤田昭二氏（「市民と科学者の内部被曝問題研究会」代表）ー内部被曝について  
(昼休み)
  - 13：00 野呂美加氏（「チェルノブイリの架け橋」代表）ー内部被曝を避けるための生活
  - 13：15 堀口貞夫氏（主婦会館クリニック院長）ー妊産婦の放射線相談室を開設して
  - 13：30 小倉しのぶ（「母と子のふくしま未来対策研究所」準備室室長）ー業務内容について
  - 13：50 測定器メーカー(数社)による意見交換ー放射線測定の課題ー
  - 14：20 橋本俊彦氏（「自然医学放射能防護情報室」室長）ー免疫力向上の自然療法について
  - 14：35 鈴木則雄氏（郡山ラジオFM局主催者）ー放射能情報の取り方について
  - 14：50 母と子のふくしま未来対策研究所準備室の今後の取り組み(MP Iーマザープロジェクトインストラクター、グリーンシティについてなど)

\* お昼時間と15：00～17：00は、別室にて、線量計測器や内部被曝対策関連の展示・デモを行います。（各種計測機器・身体に良い食品・免疫力計測器デモ・免疫力向上療法の実演など）

一般財団法人マザープロジェクト 代表理事：穂積育子

お申し込みはFAXかメールにて、ご住所、連絡先、お名前を記載の上、お送りください

FAX：024(961)1419      Email：[ikuko25@k9.dion.ne.jp](mailto:ikuko25@k9.dion.ne.jp)